

「平成 30 年度 地下水利用フォーラム」開催報告

主催（一社）全国さく井協会 東北支部

平成 31 年 2 月 20 日、第 6 回目となる「地下水利用フォーラム」を仙台市内で開催しました。今回も国土交通省東北地方整備局、宮城県、仙台市、河北新報社、（一社）東北地質調査業協会、（一社）斜面防災対策技術協会東北支部の後援を頂き、また 27 社の企業様から広告掲載協賛としての支援にも支えられ、参加者は 110 名を数え、盛況裏に講演会を終えることが出来ました。協賛頂いた企業様や講演者、ご参加の皆様には感謝申し上げます。

講演に先だって、主催者を代表して平山支部長が挨拶に立ち、東日本大震災から 8 年が経とうとしているが大災害が発生した場合、水の確保が大切であり井戸水が重要な役割を果たす。国民の安全・安心確保のためにも防災井戸の整備に協会の総力を挙げて取り組んでいきたい、と述べました。



平山支部長の挨拶

その後、福島県の榮川酒造の宮森優治氏より「会津の自然と共に醸す」と題して日本名水百選の磐梯西山麓湧水群の水を使った酒造りが紹介されました。



宮森氏の講演



岡本氏の講演

引き続き、サンポット株式会社の岡本淳氏から「地下水利用ヒートポンプ空調システム」のメリットや導入事例、地下水を利用した融雪槽の活用等の紹介がありました。また、グランドフォスポンプ株式会社の伊藤朝彦氏からは、災害時における「深井戸ソーラーポンプ」の利便性や、海外での用途・適用例について紹介されました。

最後に山形大学の松田修客員教授から“笑う”から“楽しい”と題しての特別講演があり「楽しいから笑うのではなく、笑うから楽しいのだ」と、行動と感情の関係について脳科学的な観点から、多くの事例を挙げられて解説がありました。固定観念で物事を判断することの危険を指摘された「目からウロコ」の講演でした。



伊藤氏の講演



松田教授の講演